

発行日: 2016年04月08日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : Pureブレンドシンナー4

会社名 : 株式会社 服部塗料工業所

住所 : 愛知県春日井市明知町1423番地の14

担当部署 : 技術部

電話 : 0568-88-8102 FAX :0568-88-7802

製品番号(SDS NO) : 888085-1

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素



危険

引火性液体: 区分2 引火性の高い液体および蒸気



危険

生殖細胞変異原性: 区分 1B 遺伝子疾患のおそれ

生殖毒性: 区分 1A 生殖能または胎児への悪影響のおそれ

特定標的臓器毒性-単回暴露: 区分 1

、血液/血液系、中枢神経/中枢神経系、腎臓、肝臓、呼吸器/呼吸器系、視力/視覚/視覚器、全身毒性に障害

特定標的臓器毒性-反復暴露: 区分 1

、中枢神経/中枢神経系、末梢神経系、腎臓、肝臓、呼吸器/呼吸器系、視力/視覚/視覚器、聴覚/聴覚器、全身毒性に障害

吸引性呼吸器有害性: 区分 1 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

警告

発がん性: 区分 2 発がんのおそれの疑い

特定標的臓器毒性-反復暴露: 区分 2

、血液/血液系、血管/血管系、神経/神経系、脾臓、皮膚に障害のおそれ



警告

急性毒性蒸気吸入: 区分 4 蒸気を吸入すると有害

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2 皮膚刺激

眼に対する損傷性/眼刺激性: 区分 2 眼への刺激

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): 区分 3

(麻酔作用)眠気およびめまいのおそれ
 急性毒性経口:区分 5 飲み込むと有害のおそれ
 急性毒性経皮:区分 5 皮膚に接触すると有害のおそれ



水生毒性-急性:区分 2 水生生物に毒性
 その他GHS分類
 水生毒性-慢性:区分 3 長期的影響により水生生物に有害
 予防

取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。
 必要な個人用保護具を使用する。
 保護手袋および保護眼鏡／顔面保護具を着用する。
 保護眼鏡／顔面保護具を着用する。
 保護手袋を着用する。
 熱／火花／裸火／高温などの着火源から遠ざける。一禁煙。
 容器および受器を接地する。
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用する。
 防爆型工具を使用する。
 静電気対策を講ずる。
 容器を密閉する。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
 粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入してはならない。
 粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避ける。
 蒸気の吸入を避ける。
 取扱い後はよく洗う。
 取扱い後はよく手を洗う。
 この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。
 (適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。
 この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。
 環境への放出を避ける。
 ヒューム／ガス／ミスト／蒸気を吸入してはならない。
 取扱い後はよく洗う。
 蒸気の吸入を避ける。
 保護手袋を着用する。

対応

水がリスクを増大させる場合:火災に際し、(適切な消火剤)を使用する。
 皮膚(または毛)にかかった場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ捨て流水／シャワーで洗う。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。
 気分が悪い時は、医師に連絡する。
 暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断／手当を受ける。
 暴露した場合:医師に連絡する。
 気分が悪い時は、医師の診断／手当を受ける。
 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。
 無理に吐かせてはならない。
 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗う。
 取り扱った後、手を洗う。
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受ける。
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受ける。

特定の洗浄剤を用いるなどの特別処置を講ずる。
緊急の特別処置などを講ずる。
吸入した場合:被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗う。
吸入した場合:被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受ける。
応急処置指示が必要な場合は医師の指示に従う。

保管

冷所/換気の良い場所で保管する。
容器を密閉して換気の良いところで保管する。
施錠して保管する。
施錠して保管する。
内容物/容器を国/地方の規則に従って廃棄する。
内容物/容器を国/地方の規則に従って廃棄する。

物理的及び化学的危険性:

火災・爆発:下水溝に流れ込むと火災・爆発の危険性がある。
火災・爆発:蒸気は空気と爆発性混合気を形成する。
火災・爆発:屋内、屋外又は下水溝で蒸気爆発を起こす危険がある。
火災・爆発:加熱すると容器が爆発するおそれがある。
火災・爆発:きわめて燃えやすい:熱、火花、火炎により容易に発火する。
火災・爆発:蒸気が発火源まで達し、フラッシュバックするおそれがある。
非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

分類の名称(分類基準は日本方式):

急性毒性物質

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別:混合物質

成分名:トルエン

含有量(%):15-20

化学式:C₇H₈

CAS No.:108-88-3

MW:92.1402

化審法番号:(3)-2 (3)-60

成分名:メチルシクロヘキサン

含有量(%):15-20

化学式:C₇H₁₄

CAS No.:108-87-2

MW:98.1876

化審法番号:(3)-2230

成分名:混合キシレン

含有量(%):5-15

化学式:C₈H₁₀

CAS No.:1330-20-7

MW:318.501

化審法番号:(3)-3 (3)-60

<混合キシレンの内訳>

成分名 : エチルベンゼン

含有量(%) : 60-70

化学式 : C₈H₁₀

CAS No. : 100-41-4

化審法番号 : (3)-28 (3)-60

成分名 : キシレン異性体混合物

含有量(%) : 30-40

化学式 : C₈H₁₀

o-キシレン CAS No. : 95-47-6

m-キシレン CAS No. : 108-38-3

p-キシレン CAS No. : 106-42-3

成分名 : イソブタノール

含有量(%) : 5-15

化学式 : C₄H₁₀O

CAS No. : 78-83-1

MW : 74.1224

化審法番号 : (2)-3049

成分名 : イソプロピルアルコール

含有量(%) : 5-10

化学式 : C₃H₈O

CAS No. : 67-63-0

MW : 60.0956

化審法番号 : (2)-207

成分名 : メタノール

含有量(%) : 1-5

化学式 : CH₄O

CAS No. : 67-56-1

MW : 32.042

化審法番号 : (2)-201

成分名 : エタノール

含有量(%) : 1-5

化学式 : C₂H₅OH

CAS No. : 64-17-5

MW : 46.0688

化審法番号 : (2)-202

成分名 : アセトン

含有量(%) : 5-10

化学式 : C₃H₆O

CAS No. : 67-64-1

MW : 58.0798

化審法番号 : (2)-542

成分名 : 酢酸エチル

含有量(%) : 5-10

化学式 : C₄H₈O₂

CAS No. : 141-78-6

MW : 88.106

化審法番号 : (2)-726

成分名 : 酢酸n-ブチル
含有量(%) : 1-5
化学式 : C₆H₁₂O₂
CAS No. : 123-86-4
MW : 116.1596
化審法番号 : (2)-731

成分名 : メチルエチルケトン
含有量(%) : 1-5
化学式 : C₄H₈O
CAS No. : 78-93-3
MW : 72.1066
化審法番号 : (2)-542

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

労働安全衛生法「表示すべき有害物」に該当する成分

アセトン, イソブタノール, イソプロピルアルコール, キシレン(異性体混合物),
酢酸エチル, 酢酸n-ブチル, トルエン, エチルベンゼン, メタノール,
メチルエチルケトン

4. 応急措置

一般的な措置

気分が悪い時は、医師に連絡する。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
暴露した場合:医師に連絡する。
気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
気分が悪い時は、医師に連絡する。
公共安全:まず、送り状記載の応急措置照会先に電話する。送り状がない場合や応答がない場合、関連機関のデータベース等に照会する。
被災者を新鮮な空気のある場所に移す。
被災者を温め、安静にする。
救急車を呼ぶ。
呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。
呼吸困難の時は酸素吸入を行う。
汚染された衣服や靴を脱がせ、隔離する。
漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。
医師に暴露物質名、防護のための注意を通知する。

吸入した場合

吸入した場合:被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
吸入した場合:被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
呼吸が弱かったり止まっている場合、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合

皮膚(または毛)にかかった場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ捨て流水/シャワーで洗う。
皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗う。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受ける。
皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗う。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受ける。
火傷した箇所は直ちに冷水でできるだけ長時間冷やす。皮膚に付着した衣服は剥がしてはならない。
皮膚を石鹼と水で洗う。

皮膚に付着した場合、直ちに医師に連絡する。
汚染された衣類を脱ぐ。

目に入った場合

目に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受ける。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡する。

無理に吐かせてはならない。

必要な場合、応急措置および必要とされる特別な処置の指示

特定の洗浄剤を用いるなどの特別処置を講ずる。

緊急の特別処置などを講ずる。

応急処置指示が必要な場合は医師の指示に従う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水がリスクを増大させる場合：火災に際し、(適切な消火剤)を使用する。

火災/注意：これらの物質は引火点が極めて低い。消火の効果が不十分なときは散水する。

火災/注意：アルコールまたは極性溶媒を高濃度に含む混合物には耐アルコール泡がより効果的である。

小火災：粉末、二酸化炭素、散水または一般の泡消火剤。

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂を用いる。

化学品から生ずる特定の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/または腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

6. 漏出時の措置

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

封じ込めおよび浄化方法と機材

危険でなければ漏れを止める。

蒸気濃度を低下させるために発泡抑制剤を用いてもよい。

乾燥した土、砂、不燃材料に吸収もしくは覆って容器に移す。

清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。

二次災害の防止策

公共の安全：関係者以外は近づけない。

公共の安全：風上に留まる。

公共の安全：低地から離れる。

公共の安全：密閉された場所に入る前に換気する。

すべての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

漏洩物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

技術的対策

(取扱者の暴露防止)

必要な個人用保護具を使用する。

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避ける。

蒸気の吸入を避ける。

ヒューム/ガス/ミスト/蒸気を吸入してはならない。

蒸気の吸入を避ける。

(火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざける。—禁煙。

容器および受器を接地する。

防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用する。
 防爆型工具を使用する。
 静電気対策を講ずる。

注意事項

火災・爆発：ほとんどの蒸気は空気より重く、地面に沿って広がり、低いところや密閉部分(下水道、地階、タンク)にたまる。
 火災・爆発：多くの液体は水より軽い。

安全取扱い注意事項

取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。
 保護手袋および保護眼鏡／顔面保護具を着用する。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
 取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。
 必要な個人用保護具を使用する。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

容器を密閉する。
 冷所／換気の良い場所で保管する。
 容器を密閉して換気の良いところで保管する。
 施錠して保管する。
 施錠して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

(トルエン)：作業環境評価基準 ≤ 20 ppm
 (n-ヘキサン)：作業環境評価基準 ≤ 40ppm
 (酢酸n-ブチル)：作業環境評価基準 ≤ 150 ppm
 (キシレン(異性体混合物))：作業環境評価基準 ≤ 50 ppm
 (エチルベンゼン)：20ppm
 (酢酸エチル)：作業環境評価基準 ≤ 200 ppm
 (メタノール)：作業環境評価基準 ≤ 200 ppm
 (イソプロピルアルコール)：作業環境評価基準 ≤ 200 ppm
 (アセトン)：作業環境評価基準 ≤ 500 ppm
 (イソブタノール)：作業環境評価基準 ≤ 50 ppm
 (メチルエチルケトン)：作業環境評価基準 ≤ 200 ppm

許容濃度

(エチルベンゼン)：日本産衛学会 50ppm; 217mg/m³
 (トルエン)：日本産衛学会 50ppm; 188mg/m³
 (酢酸n-ブチル)：日本産衛学会(1994) 100ppm; 475mg/m³
 (キシレン(異性体混合物))：日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m³
 (酢酸エチル)：日本産衛学会(1995) 200ppm; 720mg/m³
 (メタノール)：日本産衛学会(1963) 200ppm; 260mg/m³ (皮)
 (イソプロピルアルコール)：日本産衛学会(1987) (最大値) 400ppm; 980mg/m³
 (アセトン)：日本産衛学会(1972) 200ppm; 470mg/m³
 (イソブタノール)：日本産衛学会(1987) 50ppm; 150mg/m³
 (メチルエチルケトン)：日本産衛学会(1964) 200ppm; 590mg/m³
 (エチルベンゼン)：ACGIH TWA: 10ppm
 (メチルイソブチルケトン)：ACGIH TWA: 20ppm
 (トルエン)：ACGIH (2006) TWA: 20ppm (視覚損傷; 女性生殖; 流産)
 (酢酸n-ブチル)：ACGIH (1995) TWA: 150ppm STEL: 200ppm (眼および上気道刺激)
 (キシレン(異性体混合物))：ACGIH (1992) TWA: 100ppm STEL: 150ppm (上気道および眼刺激; 中枢神経系損傷)
 (酢酸エチル)：ACGIH (1979) TWA: 400ppm (上気道および眼刺激)

(エタノール) : ACGIH (1979) TWA: 1000ppm (上気道および眼刺激; 中枢神経系損傷)
(メタノール) : ACGIH (1992) TWA: 200ppm STEL: 250ppm (皮膚)(頭痛; 眼障害)
(イソプロピルアルコール) : ACGIH (2001) TWA: 200ppm STEL: 400ppm (眼および上気道刺激; 中枢神経系損傷)
(アセトン) : ACGIH (1996) TWA: 500ppm STEL: 750ppm (上気道および眼刺激、中枢神経系損傷、血液影響)
(イソブタノール) : 「ACGIH 1973」 TWA: 50ppm (皮膚および眼刺激)
(メチルエチルケトン) : ACGIH (1992) TWA: 200ppm STEL: 300ppm (上気道刺激; 中枢および末梢神経系損傷)

個人用保護具などの個人保護措置

呼吸器用の保護具

保護具 : 空気呼吸器(SCBA)を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

保護手袋を着用する。

保護眼鏡／顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護具 : 防火服は限られた防護をするに過ぎない。

適切な衛生対策

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。

この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。

取扱い後はよく洗う。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

色 : 無色透明

臭い : 有機溶剤臭

pH : 知見なし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点(沸点) : 知見なし

沸騰範囲 : 56-144C

融点/凝固点 : 知見なし

分解温度 : 知見なし

引火点 : 0C以下

自然発火温度 : 258C

蒸気圧 : 知見なし

蒸気密度 : 知見なし

比重/密度 : 0.77-0.902

粘度 : 知見なし

溶解性

水に対する溶解性 : 不溶

オクタノール／水分配係数 (log Pow) : 知見なし

放射性 : 知見なし

嵩密度 : 知見なし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

常温・常圧で安定

通常取り扱い条件下で安定。

11. 有害性情報

物理的、化学的および毒性学的特性に関係した症状

労働基準法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号疾病化学物質

トルエン

蒸気は、めまいや窒息を引き起こすおそれがある。

経口毒性データ

(エチルベンゼン): ラット LD50 3500 mg/kg
 (メチルイソブチルケトン): ラット LD50 2080 mg/kg
 (トルエン): ラット LD50 5000 mg/kg
 (酢酸n-ブチル): マウス LD50 7060 mg/kg
 (酢酸エチル): マウス LD50 4100 mg/kg
 (エタノール): ラット LD50 7060 mg/kg
 (メタノール): ラット LD50 5628 mg/kg
 (イソプロピルアルコール): マウス LD50 3600 mg/kg
 (アセトン): マウス LD50 3000 mg/kg
 (イソブタノール): ラット LD50 2460 mg/kg
 (メチルエチルケトン): ラット LD50 2737 mg/kg

経皮毒性データ

(エチルベンゼン): ラビット LD50 17800 mg/kg
 (トルエン): ラビット LD50 12124 mg/kg
 (エタノール): ラビット LDLO 20g/kg
 (アセトン): ラビット LD50 20g/kg
 (イソブタノール): ラビット LD50 3400 mg/kg
 (メチルエチルケトン): ラビット LD50 13g/kg

吸入毒性データ

(エチルベンゼン): ラット LC50 55000 mg/m³/2H
 (トルエン): ラット LCL0 4000ppm/4H
 (酢酸n-ブチル): ラット LC50 2000ppm/4H
 (キシレン(異性体混合物)): ラット LC50 6700ppm/4H
 (酢酸エチル): ラット LC50 1600 ppm / 8H
 (エタノール): ラット LC50 20000ppm/10H
 (メタノール): ラット LC50 64000ppm/4H
 (イソプロピルアルコール): マウス LCL0 12800ppm/3H
 (アセトン): ラット LCL0 16000ppm/4H
 (イソブタノール): ラット LCL0 8000ppm/4H
 (メチルエチルケトン): マウス LC50 40g/ m³ /2H

皮膚腐食性・刺激性

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

皮膚腐食性/刺激性データ

(エチルベンゼン): ラビット 15 mg/24H open ; MILD
 (トルエン): ラビット 435 mg ; MILD
 500 mg ; MODERATE
 (酢酸n-ブチル): ラビット 500 mg/24H ; MODERATE
 (キシレン(異性体混合物)): ラビット 500 mg/24H ; MODERATE
 (エタノール): ラビット 400 mg open ; MILD
 ラビット 500 mg/24H ; SEVERE
 (メタノール): ラビット 20 mg/24H ; MODERATE
 (イソプロピルアルコール): ラビット 500 mg ; MILD
 (アセトン): ラビット 100 mg/24H ; MODERATE
 (イソブタノール): ラビット 500 mg/24H ; SEVERE
 (メチルエチルケトン): ラビット 500 mg/24H ; MODERATE

眼損傷性/刺激性データ

(トルエン): ラビット 0.87 mg ; MILD
 2 mg/24H ; SEVERE 100 mg/30S rinse ; MILD

(酢酸n-ブチル): ラビット 20 mg open ; SEVERE
 (キシレン(異性体混合物)): ラビット 87 mg ; MILD
 ラビット 5 mg/24H ; SEVERE
 (エタノール): ラビット 100 mg/24H ; MODERATE
 ラビット 100 mg/4S rinse ; MODERATE
 (メタノール): ラビット 40 mg ; MODERATE
 100 mg/24H ; MODERATE
 (イソプロピルアルコール): ラビット 10 mg ; MODERATE
 (アセトン): ラビット 395 mg open ; MILD
 ラビット 500 mg/24H ; MILD
 (イソブタノール): ラビット 2 mg open ; SEVERE
 20 mg/24H ; MODERATE

がん原性

(エチルベンゼン): IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。
 (トルエン): IARC-Gr.3 ; ヒトに対する発がん性については分類できない。
 (キシレン(異性体混合物)): IARC-Gr.3 ; ヒトに対する発がん性については分類できない。
 (エタノール): IARC-Gr.1 ; ヒトに対して発がん性がある。
 (イソプロピルアルコール): IARC-Gr.3 ; ヒトに対する発がん性については分類できない。
 (トルエン)ACGIH-A4(2006) : ヒト発がん性因子として分類できない
 (キシレン(異性体混合物))ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない
 (エチルベンゼン)ACGIH-A3(1998) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
 (イソプロピルアルコール)ACGIH-A4(2001) : ヒト発がん性因子として分類できない
 (アセトン)ACGIH-A4(1996) : ヒト発がん性因子として分類できない
 (エタノール)ACGIH-A4(1979) : ヒト発がん性因子として分類できない
 (エチルベンゼン)日本産衛学会-2B: 人間に対しておそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質
 (トルエン)EPA-I; 発がん性を評価する情報が不十分(2005)
 (メチルエチルケトン)EPA-I; 発がん性を評価する情報が不十分(2005)
 (キシレン(異性体混合物))EPA-I; 発がん性を評価する情報が不十分(2005)
 (エチルベンゼン)EPA-グループD; ヒト発がん性に分類できない(1986)
 (メチルイソブチルケトン)EPA-I; 発がん性を評価する情報が不十分(2005)
 (アセトン)EPA-I; 発がん性を評価する情報が不十分(2005)

生殖毒性

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に有害

残留性と分解性

当製品は易分解性である。

13. 廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取扱いに関する情報

(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。

内容物/容器を国/地方の規則に従って廃棄する。

環境への放出を避ける。

内容物/容器を国/地方の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 1263

クラス : 3

包装等級 : 2

適切な積荷名称 : 塗料

緊急時応急指針番号 : 128

国際規制

海洋汚染防止法

危険物

アセトン; エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); 酢酸エチル; トルエン;
メチルエチルケトン

有害液体物質(Y類)

エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); 酢酸n-ブチル; トルエン; メタノール

有害液体物質(Z類)

アセトン; イソプロピルアルコール; エタノール; 酢酸エチル; メチルエチルケトン

輸送の特定の安全対策及び条件

火災・爆発 : 加熱状態で運送されることがある。

タンク火災あるいは車/トレーラーの積荷火災 : 火災に巻き込まれたタンクから常に離れる。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康および環境に関する規則

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤中毒予防規則 第2種

アセトン; イソブタノール; イソプロピルアルコール; 酢酸エチル; 酢酸n-ブチル;
トルエン; メタノール; メチルエチルケトン

作業環境評価基準

アセトン; イソブタノール; イソプロピルアルコール;
キシレン(異性体混合物); 酢酸エチル; 酢酸n-ブチル; トルエン;
メタノール; メチルエチルケトン

名称等を表示すべき有害物

アセトン; イソブタノール; イソプロピルアルコール; キシレン(異性体混合物);
酢酸エチル; 酢酸n-ブチル; トルエン; メタノール; メチルエチルケトン

施行令別表1-4、危険物・引火性の物 (-30 C=<引火点<0 C)

酢酸エチル; アセトン; メチルエチルケトン

施行令別表1-4、危険物・引火性の物 (0 C=<引火点<30 C)

エチルベンゼン; トルエン; 酢酸n-ブチル

; キシレン(異性体混合物); エタノール; メタノール; イソプロピルアルコール; イソブタノール

法第57条の2、施行令第18条の2別表第9名称等を通知すべき有害物

アセトン; エタノール; エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); 酢酸エチル;

酢酸n-ブチル; イソブタノール; イソプロピルアルコール; メタノール; メチルエチルケトン

化学物質管理促進法

法第2条第2項、施行令第1条別表第1、第1種指定化学物質

エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); トルエン

消防法

第1石油類非水溶性液体 (危険等級 II)

船舶安全法

引火性液体類

航空法

引火性液体

悪臭防止法

施行令第1条特定悪臭物質: 敷地境界線基準値 ; 0.9 - 20 ppm
イソブタノール

施行令第1条特定悪臭物質: 敷地境界線基準値 ; 3 - 20 ppm
酢酸エチル

施行令第1条特定悪臭物質: 敷地境界線基準値 ; 1 - 6 ppm
メチルイソブチルケトン

施行令第1条特定悪臭物質: 敷地境界線基準値 ; 10 - 60 ppm
トルエン

施行令第1条特定悪臭物質: 敷地境界線基準値 ; 1 - 5 ppm
キシレン(異性体混合物)

大気汚染防止法

施行令第10条特定物質
メタノール

16. その他の情報

参考文献

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 13th edit. UN

<http://europa.eu.int/eur-lex/en/> (2004/73/EC)

2004 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2007 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html>

「化学物質等法規制便覧改訂第4版」(2004)化学物質等法規制便覧編集委員会編

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の手配を対象としたものであって、特殊な手配の場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。